

2020(令和2)年10月26日
京阪ホールディングス株式会社
京 都 市
京 都 市 観 光 協 会
東日本旅客鉄道株式会社

京都市内中心部から大原・八瀬、鞍馬・貴船などへの 観光客の分散化を目指した実証実験

Web型MaaS「奥京都MaaS」10月27日(火)サービス開始

- 旅の行程管理、企画乗車券・飲食チケット購入、スタンプラリー機能などを一体で提供
- 利用開始時から24時間・36時間乗降可能なデジタル企画乗車券のキャッシュレス販売
- 500mメッシュ単位の人口推計を1時間毎に更新して表示できる観光マップを採用

京阪ホールディングス株式会社(本社:大阪府中央区、社長:石丸昌宏 以下「京阪HD」)、京都市(市長:門川大作)、京都市観光協会(会長:田中誠二)と東日本旅客鉄道株式会社(本社:東京都渋谷区、社長:深澤祐二 以下「JR東日本」)は、京都の奥座敷と呼ばれる大原・八瀬、鞍馬・貴船などの洛北エリアにて、Web型MaaS(Mobility as a Service)「奥京都MaaS」の実証実験を10月27日(火)から開始します。

本実証実験では、①京都市内中心部の混雑緩和、②地域観光消費額の増大と分散化、③朝観光・夜観光の促進による観光時間帯の分散化といった課題解決を目的に、洛北エリアへの観光客の分散化を目指しています。

そのため、「奥京都MaaS」では、Web上で、大原・八瀬、鞍馬・貴船などの洛北エリア内を周遊するモデルコースを観光客に「分かりやすく」提案するとともに、「おトクで便利な」鉄道・バスの特典付き企画乗車券及び飲食チケットを販売するほか、デジタルスタンプラリーを展開するなど洛北エリアでの周遊を「楽しく」促進することを図ります。

特に企画乗車券は、Webサービスの利点を活かして、日単位ではなく、利用開始時から24時間または36時間の時間単位としました。こういった事例は国内では珍しく、新幹線などを使ってJR京都駅にお昼過ぎに到着される宿泊観光客にとっても利便性の高い企画乗車券とすることで、洛北エリア内での朝観光・夜観光を促します。

また、コロナ禍であることを踏まえ、京都市内の500mメッシュ単位の人口推計を確認できる機能を搭載した観光マップを採用します。1時間毎に、直近1時間の人口推計データを表示することで、観光客が観光情報と京都市内各エリアの混雑状況を1つの地図でタイムリーに把握しながら旅行することができます。

京都市・京都市観光協会が取り組む「とっておきの京都プロジェクト(※)」をはじめ、地域等と連携して「奥京都MaaS」を実施することで、利用者にとっての「安全安心」と公共交通の「便利な移動」を両立して各種サービスを提供してまいります。

詳細は別紙をご覧ください。



奥京都 MaaS 画面イメージ



ロゴマーク



奥京都 MaaS サイト

(参考)

※本実証事業は国土交通省の「令和2年度日本版 MaaS 推進・支援事業」において、新たな MaaS の構築を牽引するモデルプロジェクトとして選定されております。

※「とっておきの京都～定番のその先へ～」プロジェクトについて

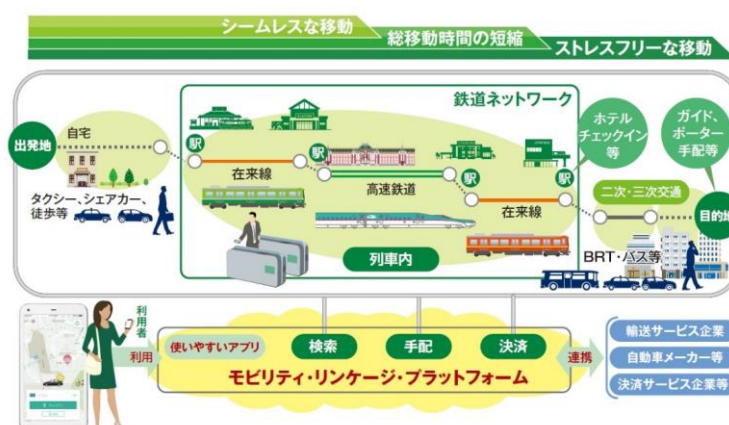
京都市と京都市観光協会では、地域や民間事業者と連携し、隠れた名所の魅力を発掘・活用することにより、市域全体への観光客の誘客を促進させ、観光客の満足度を更に高めるとともに、地域の活性化に繋げることを目的として、「とっておきの京都～定番のその先へ～」プロジェクトに取り組んでいます。

ウェブサイトURL

<https://totteoki.kyoto.travel/>



※今回の実証実験では、検索・手配・決済の3つの機能をオールインワンで提供する JR 東日本の「モビリティ・リンケージ・プラットフォーム」をベースにサービスを構築しております。



(別紙)

1. MaaS 実証実験について

概要 Web 型 MaaS「奥京都 MaaS」において、カスタマイズ可能な行程管理機能でモデルコースを提案し、24 時間・36 時間乗降可能な鉄道・バスの特典付きデジタル企画乗車券及びデジタル飲食チケットのキャッシュレス販売・発券、デジタルスタンプラリーの実施などにより朝・夜の観光を含めた京都市周縁部（洛北エリア）での周遊促進を図る。



目的 京都市に來訪する観光客の訪問エリア・時間帯・観光テーマの分散化

主催 京阪ホールディングス株式会社

連携先 京都市、公益社団法人京都市観光協会、東日本旅客鉄道株式会社

期間 2020年10月27日（火）～2021年1月31日（日） ※予定

その他 2020年10月26日現在、貴船口駅付近で発生した土砂崩れの影響により、叡山電車鞍馬線は市原駅～鞍馬駅間で運転を見合わせております。

2. 今回の実証実験の3つのポイント

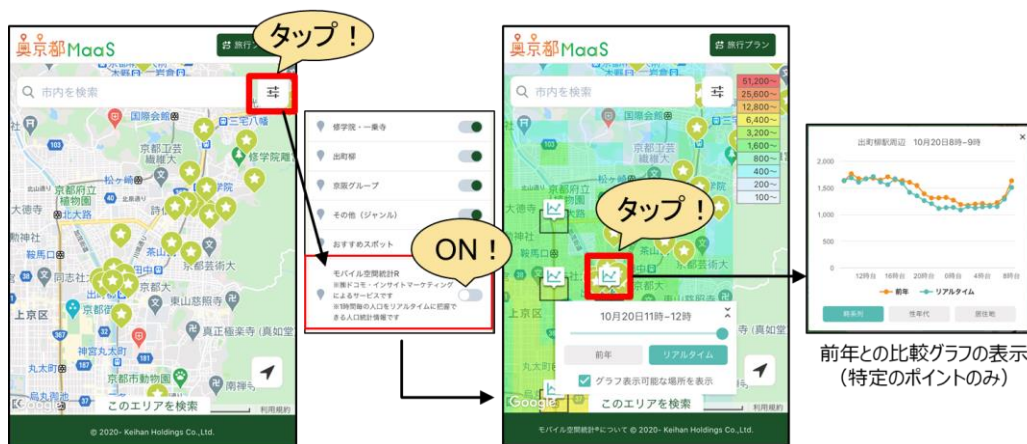
(1) Webサービスの利点を活かした洛北周遊の促進

- ①カスタマイズ可能な行程管理機能を活用した、洛北周遊モデルコースの提案
- ②デジタル企画乗車券・飲食チケットのキャッシュレス販売・発券
(デジタル飲食チケットは2020年11月2日(月)サービス開始予定)
- ③QRコードを活用した非接触のデジタルスタンプラリー

(2) 新型コロナウイルス感染症の拡大防止への取り組み

- ①株式会社ドコモ・インサイトマーケティングの「モバイル空間統計®人口マップ」と連携した観光マップの採用

京都市内の500mメッシュ単位の人口推計を確認できる機能を搭載した観光マップを採用します。1時間毎に、直近1時間の人口推計データを表示することで、観光客が観光情報と京都市内各エリアの混雑状況を1つの地図でタイムリーに把握しながら旅行することができます。またこれに加えて「奥京都」へのゲートウェイである出町柳駅周辺については、人口動態(前年比・時間帯別、男女・年齢別、市内・府内・府外の居住地別)をグラフでリアルタイムに確認することができます。



※画面はイメージです

- ②ガイドライン推進宣言事業所との連携

デジタル飲食チケットが利用できる飲食店は、京都市・京都市観光協会などで組織する「新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン推進京都会議」が発行するガイドライン推進宣言事業所ステッカーの交付先とし、観光客と地域が連携して感染拡大を予防いただけるよう努めます。



(3) 4つのチャレンジ

①宿泊旅行者にメリットある24時間・36時間企画乗車券で、朝も夜も洛北内を周遊

Web サービスならでの利点を活かして、国内では珍しい利用開始時から24時間または36時間の乗降が可能な企画乗車券を販売・発券します。新幹線などを使ってJR京都駅にお昼過ぎに到着される宿泊観光客にとって、利便性の高い企画乗車券とすることで、洛北エリア内での朝観光・夜観光を促します。

利用期限の時間まで、スマートフォン上に表示される「奥京都 MaaS」デジタル企画乗車券の画面を提示するだけで乗降いただけます。

<旅程にあわせて選べる叡電&京都バスの3つの券種と1つのオプション券>

①奥京都 MaaS 交通パス【叡山電車&京都バス（洛北地区）36時間】

大人 2,200円 こども 1,100円

②奥京都 MaaS 交通パス【叡山電車&京都バス（洛北地区）24時間】

大人 1,600円 こども 800円

③奥京都 MaaS 交通パス【叡山電車24時間】

大人 900円 こども 450円

上記①～③のパスのいずれかをご購入の方は、以下のオプション券の購入も可能です。

・奥京都 MaaS 交通パスオプション券【叡山ケーブル&ロープウェイ往復乗車券】

大人 1,440円 こども 720円



券面イメージ

<デジタル企画乗車券の提示で特典を受けられる協力先（予定）>

- ・大原・八瀬エリア：三千院・寂光院ほか
- ・鞍馬・貴船エリア：鞍馬寺・貴船神社ほか
- ・修学院・一乗寺・出町柳エリア：旧三井家下鴨別邸・曼殊院ほか
- ・その他のエリア：実相院・岩倉具視幽棲旧宅・京都タワーほか

②JR 東日本アプリとの連動

首都圏を中心にダウンロード数が500万件を超え、日本全国の陸上交通に加え飛行機や船舶等の各種交通モードや「現在地」から「目的地」までの徒歩も含めた経路案内が可能なアプリ「JR 東日本アプリ」と連携。同アプリで京都の主要な駅名を検索した際に「奥京都 MaaS」を告知します。これにより、京都旅行に関心がある方、来訪予定がある方に、効果的にこのサービスを訴求してまいります。



③叡山電車の全編成にGPS 端末を設置し、リアルタイムで在線位置情報を提供

本実証実験中、叡山電車全編成にGPS 端末を設置し、観光マップ上に各編成が今どこを走っているか、という情報を提供します。なお、この情報は、10月27日より提供開始予定です。

④大原エリアでの三次交通（シェアサイクル）展開の可能性を検証

大阪市内や首都圏など観光客の多い発地・生活圏において、圧倒的なシェアを誇るドコモ・バイクシェアを大原エリアにおいて8日間の期間限定でトライアル実施。既存会員の方は、キャッシュレスで、普段の生活で利用する電動アシスト自転車を大原でも楽しめます。

さらに、非会員であっても、大原を電動アシスト自転車で満喫いただくために、特別に、1日券500円・2日券1,000円のプリペイドカードの販売も実施。シェアサイクルによる大原での宿泊を伴う夜観光・朝観光促進の可能性を検証します。

<実証実験の展開予定日>

- ・2020年10月31日（土）～11月3日（火・祝）
- ・2020年12月5日（土）～6日（日）
- ・2020年12月12日（土）～13日（日）

3. 「奥京都 MaaS」について

(1) ネーミング

京都の奥座敷と呼ばれる大原・八瀬、鞍馬・貴船といった自然豊かな洛北エリアは、京都の奥深い歴史・文化が食をはじめとする日常の中に溶け込んでいます。そうした京都の奥深さを満喫いただくことを目指して「奥京都 MaaS」と命名しました。

(2) 推進体制

<幹 事 社>京阪ホールディングス株式会社

<連 携 先>京都市、公益社団法人京都市観光協会、東日本旅客鉄道株式会社

<協 力 先>叡山電鉄株式会社、京都バス株式会社、京福電気鉄道株式会社、株式会社ドコモ・バイクシェア、株式会社ドコモ・インサイトマーケティング、地域事業者（大原観光保勝会、貴船観光会、八瀬叡山保勝会、京阪電気鉄道株式会社他）、国土交通省京都運輸支局

<オブザーバー>国土交通省近畿運輸局

以 上